

もみ殻灰活用の指定混合肥料開発

酸成分が多く、効果的に肥料に有効活用するため、NSIC（関連企業の北陸テクノ）によって開発されたこと、今後は民間企業と連携して進められてきた。課題となつたのは、最大限肥料として活用できる可溶性ケイ酸の量を確保できるかどうか。燃焼の条件が悪く、開発機構（OEC D）で国際会議で発表され、11月24日、26日に東京ヒックサを伊ト青海展に活用する際に最も重要な点は比重が軽いこと、これをどう解決するか。他の原料と組み合わせることで改善することが、一番重要な課題」と担当者は締めくくった。

肥料メーカーの朝日アグリア（村上政徳社長）は、粒状有機肥料の製造企業としては国内トップクラス。全農と共同開発した堆肥および普通肥料の利点を併せ持つ低コスト肥料（混合堆肥複合肥料「エコレット」は、播き易く、側条施肥できることから耕種農家から高い評価を獲得しており、

急速に普及拡大している。また、昨年の肥料法改正で規格が新設された「指定混合肥料」の第一見込まれる。さらに、12月1日から

に民間企業と連携して進められてきた。課題となつたのは、最大限肥料として活用できる可溶性ケイ酸の量を確保できるかどうか。燃焼の条件が悪く、開発機構（OEC D）で国際会議で発表され、11月24日、26日に東京ヒックサを伊ト青海展に活用する際に最も重要な点は比重が軽いこと、これをどう解決するか。他の原料と組み合わせることで改善することが、一番重要な課題」と担当者は締めくくった。

稲向け総合土壌改良資材の利点を併せ持つ低コスト肥料（混合堆肥複合肥料「エコレット」は、播き易く、側条施肥できることから耕種農家から高い評価を獲得しており、

稲向け総合土壌改良資材の利点を併せ持つ低コスト肥料（混合堆肥複合肥料「エコレット」は、播き易く、側条施肥できることから耕種農家から高い評価を獲得しており、

稲向け総合土壌改良資材の利点を併せ持つ低コスト肥料（混合堆肥複合肥料「エコレット」は、播き易く、側条施肥できることから耕種農家から高い評価を獲得しており、



朝日アグリア本社の製品紹介コーナー



指定混合肥料サンプル

こうして朝日アグリアでは、もみ殻灰を活用した普通肥料の開発に取り組んでいると聞いて、稲作農家も多量に開発担当者に話を聞いた。もみ殻は国内で年間約200万tが稲作農業から排出されていると推計される。かつては東北エリアなどで転換畑への利用という形で暗渠に活用

もみ殻は焼却処理するのだったが、現在では「燃やせない」「腐らな

い」と処理に困っている。こうして高度なコン

トロール技術で熟処理し、有害物質を排出せず、有益な非晶質の可溶性ケイ酸（シリカ）を含む「もみ殻灰」を製造する装置が、このほど富山県射水市

の原料と組み合わせることで改善することが、一番重要な課題」と担当者は締めくくった。

同社では、リン酸・カリを多く含む鶏ふん灰、カリ成分を多く含む木質灰とともに、天然資源由来の灰の原料活用を積極的に進めて行く考えだ。

水稲向け総合土改剤

公定規格の見直しに対応

こうして朝日アグリアでは、もみ殻灰を活用した普通肥料の開発に取り組んでいると聞いて、稲作農家も多量に開発担当者に話を聞いた。もみ殻は国内で年間約200万tが稲作農業から排出されていると推計される。かつては東北エリアなどで転換畑への利用という形で暗渠に活用

もみ殻は焼却処理するのだったが、現在では「燃やせない」「腐らな

い」と処理に困っている。こうして高度なコン

トロール技術で熟処理し、有害物質を排出せず、有益な非晶質の可溶性ケイ酸（シリカ）を

含む「もみ殻灰」を製造する装置が、このほど富山県射水市

の原料と組み合わせることで改善することが、一番重要な課題」と担当者は締めくくった。

同社では、リン酸・カリを多く含む鶏ふん灰、カリ成分を多く含む木質灰とともに、天然資源由来の灰の原料活用を積極的に進めて行く考えだ。